

公共建築物等の木造化・木質化に向けた研修会

【研修目的・テーマ】

斐伊川流域管内の市町が公共建築物を建築する際、建築コストの不透明性や木材確保の困難性といった理由から非木造での建築を選択するケースが多くなっています。これまで斐伊川流域林業活性化センターでは、建築用材の流通円滑化を図るべく各種研修等を開催し、川上から川下の林業関係者、工務店、建築士等と連携した取組を進めてきました。

このたびは、地域の公共建築物等の木造化・木質化を推進したく、公共建築等に携わる行政建築担当者、建築士、工務店の方々に地域材を活用した木造化を積極的にご検討いただくための契機となることを期待し、開催します。

今回の講師には、学校建築等公共建築の木造化に関わってこられ、地域材の活かし方や木造化の意義、木造化による地域への波及効果を提唱されている長澤悟氏を招いて講演いただきます。

【講演日時】 令和元年7月18日（木） 13:00～17:00

【講演場所】 島根県松江合同庁舎2F 講堂

【講演概要】

講演テーマ：「公共建築物の木造化は地域に何をもたらすか（仮）」

講師：長澤 悟氏（株）教育環境研究所所長

・講演内容の流れ、ポイント

- ① 木造化を妨げている3つの課題～発注者・設計者・木材供給者の視点から
- ② 素材を知った上で設計図へ反映することの喜び
- ③ 地域の木を活かした学校づくりの事例紹介
- ④ 公共建築物の木造化は経済に、環境に、そして地域住民に何をもたらすのか？

長澤 悟氏の略歴

東洋大学名誉教授、工学博士。

国立教育政策研究所文教施設研究センター客員研究員。

東京大学大学院博士課程修了。東京大学助手、日本大学工学部専任講師、助教授、教授、東洋大学理工学部教授を経て現職。

専門分野は建築計画（教育施設、地域施設、住宅等）、設計。

特に、教育方法の多様化に対応した学校建築計画、地域施設計画、計画・設計プロセス、住宅・地域づくり等に関する研究を進める。また、学校建築等の計画・設計について、教職員・PTA・住民・子どもたちが参加する計画プロセスを取りながら、新しい学校のあり方を提案している。日本建築学会賞作品賞、同業績賞、日本教育研究連合会表彰など受賞歴多数。

主な著書

「建築設計資料 105 学校3」（建築思潮研究所）

「スクール・リノベーション」（章句社）

「やればできる学校革命」（日本評論社）

「学校づくりの軌跡～福島県三春町の挑戦」（ポイックス）ほか

以上株式会社教育環境研究所HPより転載

【参集範囲】 行政建築担当者、工務店、建築士、製材業者、素材生産業者等

【主催】 斐伊川流域林業活性化センター

【共催】 松江・森からプロジェクト、しまね木造塾

【研修スケジュール】

時間	内容
13:00～ 13:10 (10)	受講者集合・開講式
13:10～ 14:30 (80)	基調講演：「公共建築物の木造化は地域に何をもちたらすか（仮）」 講 師：長澤 悟氏（(株)教育環境研究所所長）
	休憩 10分
14:40～ 15:00 (20)	報 告：「地域材を活用した学校建設の取り組み（仮）」 報 告 者：安達研太氏（(株)こびき屋代表取締役）
15:00～ 15:20 (20)	報 告：「一般流通材を活用した大スパン架構の可能性（仮）」 報 告 者：後藤崇志氏（島根県中山間地域研究センター専門研究員）
	休憩 10分
15:30～ 16:30 (60)	グループ討議 「地域材を公共建築物に活かすための手法について（仮）」
16:30～ 16:50 (20)	各グループでのポイントを発表、講師コメント
16:50～ 17:00 (10)	ふり返りの時間、閉講式

(別紙)

公共建築物等の木造化・木質化に向けた研修会
参加申込書

研修日程：令和元年7月18日(木)

斐伊川流域林業活性化センター事務局あて(添書不要)

FAX：0852-32-5690

e-mail：hiirin@tx.miracle.ne.jp

団体名：_____

電話：_____

職名	氏名	基調講演参加 (○、×)	ワークショップ参加 (○、×)	意見交換会 (○、×)

(講師への質問事項)

〆切：令和元年 7月10日(水)